

RS ウイルス感染症の定期接種(母子免疫ワクチン)のお知らせ

令和8年4月1日からRS ウイルス感染症(母子免疫ワクチン)の定期予防接種が開始されました。

【RS ウイルス感染症について】

RS ウイルスに感染することによって起きる呼吸器の感染症です。生後1歳までに半数以上、2歳までにほぼ全てのお子さんが一度はかかると言われています。症状は発熱、鼻水、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの症状が出ることもあります。

手洗いや手指衛生といった基本的な感染対策が有効です。

RS ウイルス感染症には特效薬はなく、症状に応じた治療(対症療法)が中心で、重症化した場合には酸素投与、点滴、呼吸管理などを行います。



←厚生労働省
RS ウイルス感染症
についてはこちら

【助成制度について】

対象者	接種日時時点で石岡市に住民を有する、妊娠 28 週0日から 36 週6日までの妊婦の方 *過去の妊娠時に組換え RS ウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)を接種したことがある方も対象です。 *接種後 14 日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠 38 週 6 日までに出産を予定している場合は医師に相談してください。
接種方法	県内の指定医療機関での個別接種 *医療機関に予約の上、 <u>母子健康手帳、予診票、本人確認書類(マイナ保険証、運転免許証など現住所が分かるもの)</u> を必ず持参してください。 *指定医療機関以外で接種した場合、償還払いの手続きが必要です。接種を受けた年度末までに保健センターにて申請をしてください。領収書・明細書、母子健康手帳、口座番号がわかるもの(接種ご本人の口座)が必要です。
接種費用	無料 *期間外に接種すると任意接種の扱いとなり、自費となります。

【母子免疫ワクチンについて】

生まれたばかりの赤ちゃんは免疫の機能が未熟で、自力で十分な抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊娠中に接種すると母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた直後から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

母子免疫ワクチンの効果は、下気道感染症に対して生後90日時点で6割程度(重症下気道感染症の場合8割程度)、生後180日時点で5割程度(重症下気道感染症の場合7割程度)の予防効果があるとされています。

ワクチンの種類	組換え RS ウイルスワクチン「商品名:アブリスボ筋注用」
接種回数	妊娠ごとに1回(筋肉内に接種)
副作用	接種部位の腫れ・紅斑・痛み、頭痛、筋肉痛、発疹・蕁麻疹など まれに、ショック、アナフィラキシー様反応やけいれんなど

裏面に続きます→

予防接種を受ける前に（事前にお読みください）

(1) 注意事項

- ① 予防接種は体調の良い日にお受けください。当日の診察後に接種できなかった場合は、予診票を再発行いたします。医療機関で予診票の写しをもらい保健センターまでお越しください。
- ② 気にかかることやわからないことがあれば、予防接種を受ける前に医師に相談しましょう。

(2) 予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱のある人（一般的に体温が37.5℃以上の場合）
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方
- ③ 組換えRSウイルスワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往のある方
- ④ その他、かかりつけの医師に予防接種を受けない方がよいと言われた方

(3) 予防接種を受ける際に、医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ② これまでに、予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- ③ けいれんを起こしたことがある方
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方や、近親者に先天性免疫不全の人がいる方
- ⑤ 組換えRSウイルスワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれのある方
- ⑥ 授乳を行っている方
- ⑦ 今までに妊娠高血圧症候群と診断されたことがある、あるいは妊娠高血圧症候群を発症するリスクの高いと医師に判断された方
- ⑧ 血小板が少ない方あるいは出血しやすい方、抗凝固療法を受けている方

(4) 予防接種を受けた後の注意

- ① 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。接種医師（医療機関）とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- ② 予防接種部位の発赤・はれ・痛みや発熱・頭痛・倦怠感などがありますが、通常2～3日の間に治ります。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありませんが、接種した部位を強くすることはやめましょう。
- ④ 接種当日は安静に過ごしてください。
- ⑤ 高熱やけいれん等の異常な症状が出た時は速やかに医師の診察を受けてください。

(5) 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があり、接種間隔等については医師と相談してください

(6) 予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。接種を受けたご本人及び出生した児が対象になります。制度を利用される際には保健センターへご相談ください。

《石岡市医師会管内予防接種協力医療機関》

医療機関	所在地	電話番号
柏木医院	石岡 2158-3	0299-22-2874
富田産婦人科医院	茨城 3-5-31	0299-23-0311

*医療機関は変更になる場合があります。

*上記以外の県内の協力医療機関でも受けることができます。
詳しくはこちら（県医師会 HP）⇒



【お問合せ】 石岡保健センター TEL 0299(24)1386
八郷保健センター TEL 0299(43)6655
受付時間：月～金（祝日・年末年始を除く）8:30～17:15